

中ノ町地区

●村の変遷●

元は豊田郡だった中ノ町村は、大見村、長命村、松小池村、大明神村、萱場村、川越島村、中野町村、国吉村、一色村、富田村、白鳥村の十一か村からなり、明治29年(1896)豊田郡から浜名郡になりました。その後、村同士の統合、編入を繰り返し、昭和29年(1954)浜松市に合併しました。

①大貳神社

D-5

中ノ町村大明神の大貳神社には、入口に石標が建っており、かつては参道を進むと珍しい朱色の門がありました。神社の祭神は、京都の日枝・松尾と同神の速須佐之男命の孫に当たる大山咋神と大国御魂神の二柱です。京都の松尾神社の神領地であって三社を合祀しています。古くは豊田郡池田庄の十一か村の総社で天文年中から社領三百石を受けていました。

②天竜川の舟橋跡と木橋跡

D-6

舟橋は、橋の無い河川に多数の小船を並べて綱や鎖で連結し、その上に板を敷いたもので、古くから存在し、明治元年(1868)、明治天皇御東幸の際にも設けられました。明治7年(1874)に舟橋を主体とする仮木橋の天竜橋が竣工、明治9年(1876)には、木橋に架け替えられ、東海道の往来に大きな貢献をしました。天竜川のたもと中野町六所神社の裏手、堤防の斜面に川に向かって「舟橋の記」が建ち、「舟橋跡」・「天竜川木橋跡」と二本の愛称標識が六所神社東、堤防の上に並んで建っています。

⑤白鳥の富士石

D-4

白鳥町六所神社に注連縄で飾られた高さ1m程の石があり、富士石と呼ばれています。この石には古くから言い伝えがあり、足の神様として祀られています。

⑥子安神社

D-5

子安神社は子安様として人々から親しまれており、神社の境内の東にあるお地藏様は、子育て地藏として信仰されています。



⑦松之浦神社

D-5

大きな石鳥居に飾られている太い注連縄は、毎年10月の祭典前に町民の手で綱われ、祭典の朝、飾り付け奉納されます。

⑧松林寺

D-6

薬師如来を祀る薬師堂は、徳川家光の命で建立されました。ご本尊の地藏菩薩は木造で、行基の作と伝えられています。

⑨中川屋(鰻の老舗)

D-6

創業130余年。戦争中も火を絶やさず、秘伝の味を今に伝えています。



ポケットパーク



中ノ町フラワーロード

③ポケットパーク

D-5

・中ノ町フラワーロード

平成21年(2009)3月、新天竜川橋拡幅工事に伴い建設されました。ウォーキングの休憩スポットとしても利用できます。また、近くの「中ノ町フラワーロード」には、地域住民らの手で咲かせた四季折々の花が道行く人の目を楽しませています。

④はりつけ餅



約170年前に天竜川の堤防で売られていたとされる「はりつけ餅」。これは、五文どり(あんころ餅)を竹の串に刺し、醤油を付けて焼いたものだと言われています。現在、地元住民が当時のものを再現し、地域の祭り等で販売しています。

⑩舟橋紀功碑

D-6

明治天皇行幸のために浅野茂平が天竜川の舟橋を架設しました。その後、木橋に掛け替えられ東海道の往来に貢献しました。その功績を讃え、紀功碑が建てられました。



⑪明治大帝玉座迹

D-6

中野町六所神社北側の天竜川堤防沿いに石碑があります。明治天皇が、ここで金原明善翁の治水の功績を賞して、紅白縮緬が下賜されました。

⑫六所神社

D-6

三柱の海神と、三柱の航海の守り神の六柱の神様が、祭神として祀られています。

⑬西泉寺

D-6

西泉寺は聖観世音菩薩を本尊とする曹洞宗のお寺です。かつて境内にあった観音堂では、徳川家康が武田軍との戦いに敗れ、浜松城に入城する途中に休憩をとったといわれています。